

平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月10日

上場会社名 株式会社 竹内製作所  
 コード番号 6432 URL <http://www.takeuchi-mfg.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 明雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 神山 輝夫  
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 大

TEL 0268-81-1100

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	11,434	30.4	456	—	559	201.4	500	—
24年2月期第1四半期	8,767	11.4	26	—	185	—	6	—

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 1,007百万円 (355.6%) 24年2月期第1四半期 221百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	30.62	—
24年2月期第1四半期	0.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	49,077	—	27,366	—	—	55.8
24年2月期	46,633	—	26,440	—	—	56.7

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 27,366百万円 24年2月期 26,440百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,600	9.9	820	103.6	890	—	720	—	44.09
通期	40,400	0.3	1,270	△6.0	1,370	49.5	1,050	138.6	64.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期1Q	16,333,000 株	24年2月期	16,333,000 株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	1,135 株	24年2月期	1,135 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期1Q	16,331,865 株	24年2月期1Q	16,331,946 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの主力市場である米国及び欧州の当第1四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年5月31日まで)の経済は、米国におきましては、住宅価格の下落は続いておりますがその下落幅は縮小しており住宅投資も底堅く推移したことから、住宅市場は全般的に改善の動きが継続いたしました。個人消費も回復傾向にあり、景気は総じて堅調に推移いたしました。欧州におきましては、欧州債務問題の拡大を背景に企業や消費者のマインドが悪化し設備投資や個人消費が落ち込んだことにより、景気は足元でも低迷を続けております。

このような環境の中で当社グループの米国、欧州及び中国での当第1四半期連結累計期間のミニショベル及び油圧ショベルの販売台数は、需要が増加したことと販売強化に取り組んだことにより、前年同期と比較して増加しました。しかし、欧州債務問題が抜本的解決策を欠く中、今後の建設機械需要と為替水準は、先行き不透明な状況です。これらの状況に対処するため、当社グループは、中国等からの海外部品調達を積極的に行うことにより、原価低減と為替リスクの軽減を推し進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は販売台数の増加により114億3千4百万円(前年同期比30.4%増加)になりました。

利益面につきましては、円高により外貨建売上の円換算額が目減りしましたが、販売台数の増加、製品価格の値上及び原価の低減により、営業利益は4億5千6百万円(前年同期は、2千6百万円の営業利益)となりました。経常利益は、デリバティブ評価益3千万円及び補助金収入が2千8百万円発生したことなどにより、5億5千9百万円(前年同期比201.4%増加)となりました。四半期純利益は、税金費用を6千万円計上したことにより、5億円(前年同期は、6百万円の四半期純利益)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 日本

日本では、欧州向けミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が増加したことにより、売上高は51億8千6百万円(前年同期比39.9%増加)、セグメント利益は売上高の増加及び販売子会社向けの製品価格を値上したことなどにより5億1千8百万円(前年同期は、5千7百万円のセグメント損失)となりました。

#### ② 米国

北米では、ミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの販売台数が増加したことにより、売上高は30億4千4百万円(前年同期比38.9%増加)、セグメント利益は当社からの仕入価格の値上などにより7千9百万円(前年同期比61.2%減少)となりました。

#### ③ 英国

英国では、ミニショベルの販売台数が増加したことにより、売上高は14億8千8百万円(前年同期比44.2%増加)、セグメント利益は7千6百万円(前年同期比19.2%増加)となりました。

#### ④ フランス

フランスでは、ミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が減少したことにより、売上高は6億3百万円(前年同期比25.6%減少)、セグメント利益は2千8百万円(前年同期比68.1%減少)となりました。

#### ⑤ 中国

中国では、ミニショベルの販売台数が増加したことにより、売上高は11億1千2百万円(前年同期比8.4%増加)、セグメント損失は1千6百万円(前年同期は、2千3百万円のセグメント利益)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24億4千4百万円増加し、490億7千7百万円となりました。これは主に、現金及び預金が8億3千3百万円増加、売上高増加により受取手形及び売掛金が9億6千3百万円増加及びたな卸資産が2億7千5百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ15億1千8百万円増加し、217億1千1百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことが要因ですが、生産増加により支払手形及び買掛金が22億7千9百万円増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ9億2千5百万円増加し、273億6千6百万円となりました。これは主に、四半期純利益などにより利益剰余金が4億1千8百万円増加及び為替換算調整勘定が5億2千6百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月13日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、本業績予想における外国為替レートは、1米ドル=80円、1英ポンド=128円、1ユーロ=105円、1人民元=12.6円を前提としております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,155,554	7,989,045
受取手形及び売掛金	20,570,637	21,533,732
商品及び製品	7,621,627	7,740,919
仕掛品	1,342,370	1,414,724
原材料及び貯蔵品	2,112,346	2,196,536
繰延税金資産	188,717	199,440
その他	451,938	797,729
貸倒引当金	△332,733	△439,160
流動資産合計	39,110,459	41,432,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,319,660	3,381,332
機械装置及び運搬具(純額)	940,181	924,262
土地	2,190,880	2,240,516
その他(純額)	249,054	275,417
有形固定資産合計	6,699,776	6,821,528
無形固定資産	316,260	335,507
投資その他の資産		
その他	649,765	607,026
貸倒引当金	△142,980	△119,597
投資その他の資産合計	506,784	487,429
固定資産合計	7,522,822	7,644,465
資産合計	46,633,281	49,077,431

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,364,415	17,644,401
短期借入金	2,633,831	1,890,000
未払法人税等	73,402	62,991
賞与引当金	71,901	135,317
製品保証引当金	443,825	483,535
その他	1,096,697	948,965
流動負債合計	19,684,073	21,165,211
固定負債		
退職給付引当金	72,784	88,547
役員退職慰労引当金	228,731	225,013
債務保証損失引当金	45,477	43,923
その他	161,814	188,520
固定負債合計	508,808	546,005
負債合計	20,192,881	21,711,216
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,632,948	3,632,948
資本剰余金	3,631,665	3,631,665
利益剰余金	22,292,767	22,711,121
自己株式	△3,250	△3,250
株主資本合計	29,554,129	29,972,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,174	△31,098
為替換算調整勘定	△3,101,555	△2,575,170
その他の包括利益累計額合計	△3,113,729	△2,606,269
純資産合計	26,440,399	27,366,214
負債純資産合計	46,633,281	49,077,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	8,767,699	11,434,852
売上原価	7,662,892	9,734,381
売上総利益	1,104,807	1,700,471
販売費及び一般管理費		
運搬費	250,859	346,295
製品保証引当金繰入額	50,147	73,739
貸倒引当金繰入額	42,680	55,135
債務保証損失引当金繰入額	17,904	—
役員報酬	33,555	35,897
給料及び手当	253,727	255,635
賞与引当金繰入額	15,430	14,661
退職給付費用	12,531	13,806
役員退職慰労引当金繰入額	2,417	2,345
その他	399,169	446,888
販売費及び一般管理費合計	1,078,424	1,244,404
営業利益	26,383	456,067
営業外収益		
受取利息	6,879	4,579
補助金収入	30,000	28,571
為替差益	146,253	10,613
デリバティブ評価益	7,077	30,157
その他	7,801	41,656
営業外収益合計	198,011	115,577
営業外費用		
支払利息	28,036	5,715
貸与資産減価償却費	5,375	4,899
その他	5,461	1,920
営業外費用合計	38,874	12,535
経常利益	185,520	559,109
特別利益		
固定資産売却益	2,773	1,101
特別利益合計	2,773	1,101
特別損失		
固定資産売却損	1,373	171
固定資産除却損	199	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	30,382	—
特別損失合計	31,955	171
税金等調整前四半期純利益	156,338	560,040
法人税、住民税及び事業税	104,815	59,508
法人税等調整額	45,015	517
法人税等合計	149,830	60,026
少数株主損益調整前四半期純利益	6,508	500,013
四半期純利益	6,508	500,013



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,508	500,013
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,768	△18,924
為替換算調整勘定	229,401	526,385
その他の包括利益合計	214,633	507,460
四半期包括利益	221,141	1,007,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	221,141	1,007,474
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への売上高	3,706,478	2,191,707	1,032,028	810,995	1,026,489	8,767,699	—	8,767,699
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,686,726	—	35,753	34	1,991	3,724,506	△3,724,506	—
計	7,393,205	2,191,707	1,067,782	811,030	1,028,481	12,492,206	△3,724,506	8,767,699
セグメント利益又は損失(△)	△57,999	205,223	64,418	90,510	23,500	325,654	△299,271	26,383

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△299,271千円には、セグメント間取引消去△169,316千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△129,955千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への売上高	5,186,364	3,044,709	1,488,333	603,107	1,112,338	11,434,852	—	11,434,852
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,314,689	—	30	—	47,704	5,362,424	△5,362,424	—
計	10,501,053	3,044,709	1,488,363	603,107	1,160,042	16,797,276	△5,362,424	11,434,852
セグメント利益又は損失(△)	518,447	79,653	76,795	28,900	△16,899	686,898	△230,831	456,067

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△230,831千円には、セグメント間取引消去△97,590千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△133,241千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。